

35

写真を集めるルートにはどのようなものがありますか？

● 社内・社外に分けて系統的にあたっています。

① 社内でする写真

基本的には文書と同じで、収集すべき写真をリストに整理し、各部署に提供の依頼をかけていきます。しかし、写真は体系的に整理されていないケースが多く、どの部署にどのような写真が保管されているか特定するのが難しいという問題があります。特にデータのコピーが容易なデジタル写真の時代に入ってから、この問題が顕著になっています。WEB用に加工された解像度の低い写真が社内でも複数の人に共有されているのに、肝腎の印刷用に見える解像度の高いオリジナルデータの所在が不明というケースが増えています。また、いま一つの問題は、古い写真には個人所有が意外に多いことです。総務や広報にカメラがあつて、社業を記録していくというのは昭和四〇年代以降のことで、それ以前はカメラを所有している個人に依存するケースがほとんどでした。こうしたことから、会社に関わる写真なら何でもいから提出してほしい、と依頼するケースが多くなります。社歴の古い社員には必ず依

頼をかけます。カタログなどの印刷物に載った写真も、画質は落ちますが、活用できます。また、写真はなくとも、製品、半製品、部品、治具など物自体があれば新たに撮影できます。8ミリ、16ミリ、ビデオなどムービーからも写真を起こすことができます。

なお、貸し出しの依頼にあたっては、「撮影年月日」「写真の内容」「誰が写っているのか」「返却希望日」などを書き添えられる依頼用紙をお渡しします。

② 社外にある写真

仕入先・販売先が一社に特化しているときは、そちらにも依頼をしてみます。商社の場合は、取引先メーカーへの依頼は必須です。共栄会や特約店会なども有望です。どこかの子会社や関係会社である場合は、親会社にあたることもできます。親会社が広報誌を出している場合は、特に期待できます。業界団体の役職についたことのある会社なら、業界団体の記念誌や、事務局にあたるのもよいでしょう。業界紙・誌にも、記事や広告が残っている可能性があります。地元自治体や、それらが管轄する図書館に問い合わせるのも有効です。自治体が収集・所蔵している写真や文献などの風俗資料に、関連する写真が掲載されていることがあります。民間の資料館、博物館などが同様の資料を所蔵していることもあります。

③ 報道写真

時代風俗の写真ということならば、報道写真を使うこともできます。新聞社や通信社では、報道写真を貸し出すサービスを行っています。